



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 4752 URL http://www.showa-sys-eng.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,042	0.2	264	△0.8	269	△0.6	183	△0.7
2019年3月期第2四半期	3,036	△3.7	266	△4.1	271	△3.9	185	△2.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	41.52	—
2019年3月期第2四半期	41.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,040	3,303	54.7
2019年3月期	6,145	3,217	52.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,303百万円 2019年3月期 3,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	3.0	492	3.2	500	3.1	333	2.7	75.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,810,000株	2019年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	385,169株	2019年3月期	385,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,424,831株	2019年3月期2Q	4,424,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済は米国の通商政策等による貿易摩擦や中東・東アジア地域における地政学上のリスク等の影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く情報サービス産業におきましては、政府公表による「Society5.0」時代の商用化実現に向けて、ICTの更なる活用が見込まれるとともに、新技術の高度化、多様化に対応するための技術者不足も課題となるなか、引き続き情報サービス産業に対する需要の拡大が見込まれております。

このような状況の中、当社は従来からの“Traditional IT Business”を維持・拡大し、新たな“Digital Business”商談へ提案、受注活動を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,042百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益264百万円(前年同期比0.8%減)、経常利益269百万円(前年同期比0.6%減)、四半期純利益183百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

第1四半期会計期間より、従来の「BPOエントリー事業」から「BPO事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

① ソフトウェア開発事業

ソフトウェア開発事業は、売上高2,969百万円(前年同期比0.3%減)、売上総利益473百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

② BPO事業

BPO事業は、売上高72百万円(前年同期比27.5%増)、売上総利益6百万円(前年同期は売上総損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ44百万円減少し、2,516百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は71百万円(前年同四半期は157百万円の獲得)となりました。

収入の主な要因は税引前四半期純利益269百万円、退職給付引当金の増加50百万円、売上債権の減少46百万円、支出の主な要因は賞与引当金の減少92百万円、仕入債務の減少34百万円、未払金の減少74百万円、法人税等の支払額85百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9百万円(前年同四半期は1百万円の使用)となりました。

主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出3百万円、貸付けによる支出2百万円、差入保証金の差入による支出4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は106百万円(前年同四半期は105百万円の使用)となりました。これは配当金の支払によるものであります。

② 財政状態の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は4,799百万円(前事業年度末比100百万円減少)となりました。主な要因は現金及び預金が44百万円、売掛金が46百万円減少したことによります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は1,240百万円(同4百万円減少)となりました。主な要因は投資その他の資産に含めた投資有価証券の時価評価が13百万円上昇したものの、繰延税金資産が23百万円減少したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は6,040百万円(同105百万円減少)となりました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は712百万円(同243百万円減少)となりました。主な要因は買掛金が34百万円、賞与引当金が92百万円及びその他に含めた未払金が74百万円減少したことによります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は2,023百万円(同50百万円増加)となりました。これは退職給付引当金が増加したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は2,736百万円(同192百万円減少)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,303百万円(同86百万円増加)となりました。主な要因は配当金の支払106百万円による利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益183百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金9百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年5月14日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,161,260	4,116,442
売掛金	703,265	657,179
仕掛品	18,743	8,988
その他	17,380	17,126
流動資産合計	4,900,650	4,799,737
固定資産		
有形固定資産	169,907	169,495
無形固定資産	3,438	3,385
投資その他の資産		
繰延税金資産	693,077	669,375
その他	378,879	398,396
投資その他の資産合計	1,071,957	1,067,771
固定資産合計	1,245,303	1,240,652
資産合計	6,145,954	6,040,389
負債の部		
流動負債		
買掛金	246,002	211,109
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	103,950	82,896
賞与引当金	343,944	251,851
その他	252,152	156,965
流動負債合計	956,049	712,822
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	1,911,926	1,962,807
固定負債合計	1,972,899	2,023,780
負債合計	2,928,949	2,736,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	2,355,111	2,432,656
自己株式	△200,688	△200,688
株主資本合計	3,338,623	3,416,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,759	66,996
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△121,619	△112,382
純資産合計	3,217,004	3,303,786
負債純資産合計	6,145,954	6,040,389

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,036,941	3,042,182
売上原価	2,551,721	2,562,724
売上総利益	485,219	479,457
販売費及び一般管理費	219,115	215,450
営業利益	266,104	264,006
営業外収益		
受取利息	256	234
受取配当金	3,221	3,600
受取家賃	930	930
受取手数料	416	399
雑収入	280	322
営業外収益合計	5,104	5,487
営業外費用		
支払利息	21	21
営業外費用合計	21	21
経常利益	271,187	269,472
税引前四半期純利益	271,187	269,472
法人税、住民税及び事業税	64,146	66,105
法人税等調整額	22,012	19,625
法人税等合計	86,159	85,731
四半期純利益	185,028	183,740

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	271,187	269,472
減価償却費	4,566	4,080
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,693	△92,092
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,749	50,880
受取利息及び受取配当金	△3,477	△3,835
支払利息	21	21
売上債権の増減額(△は増加)	△17,333	46,086
たな卸資産の増減額(△は増加)	81	9,754
その他の流動資産の増減額(△は増加)	379	256
仕入債務の増減額(△は減少)	16,770	△34,893
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,500	△4,714
未払金の増減額(△は減少)	39,504	△74,580
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△17,287	△17,265
その他	38	27
小計	239,007	153,198
利息及び配当金の受取額	3,498	3,855
利息の支払額	△43	△43
法人税等の支払額	△85,006	△85,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,454	71,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,786	△3,614
投資有価証券の取得による支出	△880	△967
貸付けによる支出	—	△2,000
貸付金の回収による収入	1,414	1,348
差入保証金の差入による支出	—	△4,349
その他	△56	△261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,308	△9,844
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△105,725	△106,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,725	△106,002
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,420	△44,817
現金及び現金同等物の期首残高	2,259,804	2,561,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,310,225	2,516,442

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。